

RUPERT NEVE DESIGNS



RUPERT NEVE DESIGNS

Portico 5033 and 5043 plug-ins

based on VCM technology



本書の情報は予告なしに変更されることがあり、Steinberg Media Technologies GmbH はその内容にいかなる責任も負いません。本書で述べられているソフトウェアはライセンス契約に従って取り扱うものとし、ライセンス契約で特に許可されている場合除き、いかなるメディアにも複製することはできません。Steinberg Media Technologies GmbH の事前の書面による承諾がない限り、いかなる目的であれ、本書のいかなる部分も複写、複製、伝達、記録してはなりません。本書に記載する製品の登録ライセンサーは個人的使用のために本書の複写を一部だけ印刷できます。

全ての社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。Windows 7 は Microsoft Corporation のアメリカ合衆国およびその他の国々における登録商標または商標です。Mac ロゴは、ライセンス許諾を受けて使用されている商標です。Macintosh および Power Macintosh は登録商標です。

© 2011 Steinberg Media Technologies GmbH. and/or Yamaha Corporation.

All rights reserved.

目次

5	インストール
6	RND Portico プラグインの世界へようこそ
6	Portico シリーズとは？
7	インストール
7	コピープロテクション
8	ライセンスアクティベーション
8	製品の登録
9	プラグインパラメーター
10	RND Portico 5033
10	RND Portico 5043

1

インストール

RND Portico プラグインの世界へようこそ

このたびは Steinberg Rupert Neve Designs Portico プラグインをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。RND Portico プラグインは、ソフトウェアプラグインのデジタルサウンドに、Rupert Neve 氏のアナログオーディオプロセッサの伝説的なサウンドを加えます。

数十年にわたり、Rupert Neve 氏の名前は高品質なアナログサウンドの代名詞とされてきました。音楽史上最も評価の高いレコードには、Rupert Neve 氏が手がけた製品特有の音響特性が用いられています。RND プラグインをご使用になれば、楽器本来の音やアナログのぬくもりを盛り込んだ、画期的な Rupert Neve サウンドをお使いのデジタルオーディオワークステーションで実現することができます。

アナログの特性をデジタルの領域に持ち込むには、方法はひとつしかありません。それがヤマハの VCM テクノロジーです。VCM は現在利用できる最先端のモデリング技術で、Portico ハードウェアのアナログ回路を忠実に再現することができます。

オーディオ向けソリューションの開発と販売に 25 年以上の経験を持つ Steinberg Media Technologies は、最大の安定性と Cubase、Nuendo、WaveLab など主要なソフトウェアアプリケーションとの互換性を保つために、あらゆる品質テストを行なってきました。Rupert Neve 氏のアナログサウンドメイキングの知識と、ヤマハの優れたデジタルエンジニアリング、そして Steinberg のソフトウェア作成における長年の経験が結集された RND Portico プラグインは、アナログサウンドのモデリングにおいて画期的な製品といえるでしょう。Rupert Neve 氏が生み出した独特のサウンドが持つ伝説的なぬくもりや重量感を、ご自身の作品に加えたいという音楽プロデューサー、ミュージシャン、サウンドエンジニアに最適です。

伝説的な Rupert Neve サウンドをお楽しみください！ MySteinberg ウェブサイトにアクセスし、お買い求めになった製品を登録してください。オンラインサポートやその他のサービスを受けることができます。

今後ともよろしくお願いいたします。Steinberg チーム

Portico シリーズとは？

Portico 5033 EQ (5 バンドパラメトリック EQ) と 5043 Compressor (アナログコンプレッサー) は、Rupert Neve Designs 社 (以下 RND 社) のハードウェア製品です。

5033EQ は、Rupert Neve 氏が開発した往年の名機と評価されている「1073EQ」からの歴史を受け継ぎ、独特のトーンコントロール特性を持っています。

また、Rupert Neve 氏がみずから設計したインプット / アウトプットトランスフォーマーにより、バイパス状態でも非常に音楽性の高いサウンドを実現するモデルです。その特性は、ローを絞れば低域が引き締まり、ハイを上げても耳が痛くなくに必要な帯域が上がってくる独特の効きを持っています。

5043Compressor は、5033EQ にも搭載されているインプット / アウトプットトランスフォーマーを搭載し、アナログらしい自然な音質とかなり具合で、ハードコンプからナチュラルサウンドまで、ソースもドラムからボーカルまで幅広く対応します。最大の特徴はゲインリダクションタイプの切り替えができることです。現在主流の FF (Feed Forward) 回路方式ゲインリダクションと、ピンテージコンプで使われていた FB (Feedback) 回路方式とを切り替えて使用できるので、目的に応じてキャラクターの異なる音作りが可能です。

ヤマハは RND 社から、詳細な技術資料の提供と Rupert Neve 氏本人のコンサルティングを受け、VCM 技術を駆使してこれらの要素を余すところなく再現することで、Portico シリーズのデジタルエミュレーションを実現しました。

VCM (Virtual Circuitry Modeling / 仮想回路モデリング) とは？

アナログ回路の素子レベル (抵抗やコンデンサーなど) からモデリングする技術です。

世界初の物理モデルシンセサイザー VL1、VP1 などを開発した国本利文技師 (当時) を中心とするチーム「K's Lab」で開発されました。

素子レベルからモデリングすることで回路の挙動を正確に再現するだけでなく、ハードウェアが持つ微妙な音楽性も再現するために、パラメーターの作りこみに多くの時間を割いて開発されています。

Portico シリーズには、この VCM の技術が使われています。

インストール

ここでは、インストールの手順を説明します。

必要な動作環境

RND Portico プラグインを使用するには、コンピューターが以下の要件を満たしている必要があります。


Windows

- Windows 7 (32 ビットおよび 64 ビットバージョン)
- 2.0GHz CPU (Dual Core CPU 推奨)
- 1024MB RAM
- 50MB の空き容量のハードディスク
- Windows 対応のオーディオデバイス (低レイテンシーのパフォーマンスには ASIO 対応オーディオデバイス推奨)
- 推奨解像度 1280×800 ピクセルのディスプレイ
- VST 3 または VST 2.4 対応ホストアプリケーション
- USB-eLicenser (別売)
- USB-eLicenser (ライセンス管理) 用の USB ポート
- インターネット接続環境 (ライセンスアクティベーションや登録に必須)

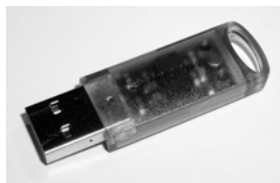
Mac OS X

- Mac OS X 10.6 (32 ビットまたは 64 ビットバージョン)
- 2.0GHz CPU (Dual Core CPU 推奨)
- 1024MB RAM
- 50MB の空き容量のハードディスク
- CoreAudio 対応オーディオデバイス
- 推奨解像度 1280×800 ピクセルのディスプレイ
- VST 3 または AU 対応ホストアプリケーション
- USB-eLicenser (別売)
- USB-eLicenser (ライセンス管理) 用の USB ポート
- インターネット接続環境 (ライセンスアクティベーションや登録に必須)

コピープロテクション

 **RND Portico プラグインをインストールする前に、以下の注意事項をお読みください。**

Steinberg 製品のほとんどが、USB-eLicenser (dongle) というハードウェアのコピープロテクションデバイスを使用しています。



USB-eLicenser は、Steinberg ソフトウェアのライセンスデータを保存する USB デバイスです。ハードウェアプロテクトされている Steinberg 製品はすべてこのタイプのデバイスを使用しています。1 つのデバイスに複数のライセンスを保存することができます。また、USB-eLicenser 間でライセンスを (一定の範囲内で) 転送することもできます。これは、ソフトウェアを個別に販売する際になどに便利です。

eLicenser Control Center では、USB-eLicenser にインストールされているライセンスを確認することができます。eLicenser Control Center は、Windows では「Start」メニューに、Mac では「Applications」フォルダー内にあります。

⇒ **コピープロテクトされた Steinberg 製品を複数使用している場合、これらのライセンスを 1 つの USB-eLicenser に転送することもできます。使用する USB ポートは 1 つだけで済みます。**

Steinberg のソフトウェア製品には必ずライセンスアクティベーションコードが付属されていますが、USB-eLicenser は同梱されていないことがあります。

- **Steinberg 製品のライセンスを有効にして、USB-eLicenser にライセンスを保存するには、eLicenser Control Center の [アクティベーションコードの入力] ボタンをクリックし、画面の指示に従って操作してください。**

ライセンスの転送およびアクティベーションについての詳細は、eLicenser Control Center のヘルプを参照してください。

製品のインストール

本製品は DVD またはダウンロードによって提供されています。

- **ソフトウェアを DVD からインストールする場合、DVD を挿入すると、Start Center が自動的に起動します。**
インタラクティブ Start Center が表示されない場合は、DVD のコンテンツを確認し、Windows では [Start_Center.exe] を、Mac では [Start Center.app] をダブルクリックしてください。

- ・ ソフトウェアをダウンロードした場合、ダウンロードしたファイルをダブルクリックして、解凍してください。

ダウンロードしたファイルのコンテンツを確認し、Windows では [Start_Center.exe] を、Mac では [Start Center.app] をダブルクリックしてください。

Start Center から RND Portico プラグインのインストールを開始します。追加のオプションや情報も確認することができます。

インストール手順に従うと、すべてのファイルが適切な場所に自動的に保存されます。

Start Center を使用しないで RND Portico プラグインをインストールしたい場合は、以下の手順に従ってください。

Windows

1. [Setup.exe] をダブルクリックします。
2. 画面の指示に従って操作します。

Mac

1. [Setup.mpkg] をダブルクリックします。
2. 画面の指示に従って操作します。

ライセンスアクティベーション

RND Portico プラグインの 30 日間体験版をお試しの場合も、完全版を購入された場合も、どちらも製品とともにインストールされたライセンスアクティベーションコードを使用してライセンスを有効にする必要があります。

操作手順は以下のとおりです。

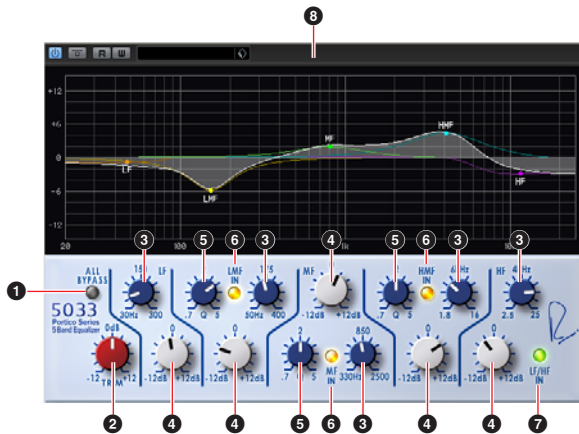
1. 製品をインストールした後、USB-eLicenser がお使いのコンピューターの USB ポートに接続されていることを確認してください。
2. eLicenser Control Center を開きます。
eLicenser Control Center は、Windows では「Start」メニューに、Mac では「Applications」フォルダー内にあります。
3. [アクティベーションコードの入力] ボタンをクリックします。
ダイアログが開いたら、アクティベーションコードを入力して、ライセンスをダウンロードします。

製品の登録

購入した製品は必ず登録してください。登録していただくと、Steinberg 製品のテクニカルサポートを利用したり、アップデートやニュースなどを受け取ることができるようになります。

- ・ 製品を登録するには、www.steinberg.net/mysteinberg にアクセスし、MySteinberg オンラインカスタマーページにログインし、画面の指示に従ってください。

RND Portico 5033



パラメーター 説明

- ① ALL BYPASS EQのバイパスをオン/オフします。バイパス状態でも、信号はインプット/アウトプットトランスフォーマーとアンプ回路を通ります。
- ② TRIM 入力ゲインを調節します。
- ③ LF/LMF/MF/HMF/HF 各バンドの周波数を調節します。
Frequency
- ④ LF/LMF/MF/HMF/HF 各バンドのゲインを調節します。
Gain
- ⑤ LMF/MF/HMF Q 各バンドのQを調節します。
- ⑥ LMF/MF/HMF IN LMF/MF/HMFのEQをそれぞれオン/オフします。
- ⑦ LF/HF IN LFとHFのEQを同時にオン/オフします。
- ⑧ グラフ表示 EQの特性を視覚的に表示します。各バンドに対応したEQポイントをドラッグすることで周波数とゲインを操作できます。
[Alt]ボタンを押しながらドラッグすると周波数だけを、[Ctrl]ボタンを押しながらドラッグするとゲインだけを、[Shift]ボタンを押しながらドラッグするとQを、それぞれ操作できます。

RND Portico 5043



モノラル時



パラメーター 説明

- ① IN コンプレッサーのバイパスをオン/オフします。バイパスのときはボタンが消灯します。ただし、バイパス状態でも、信号はインプット/アウトプットトランスフォーマーとアンプ回路を通ります。
- ② INPUT Meter 入力信号のレベルを表示します。モノラルトラックの場合はひとつのメーター、ステレオトラックにアサインした場合は、2つのメーターがそれぞれ表示されます。
- ③ FB ゲインリダクション方式をFF (Feed Forward) 回路方式とFB (Feed Back) 回路方式とで切り替えます。FB回路方式のときにボタンが点灯します。
FF回路方式は、現代のコンプレッサーでは主流の方式です。音色の変化を抑えつつ、しっかりとコンプレッションをかけたい場合に使用します。
FB回路方式は、ビンテージコンプレッサーで使用されている方式です。音色に対して機器固有の色づけをしつつ、スムーズなコンプレッションをかけたい場合に使用します。
- ④ GAIN REDUCTION Meter ゲインリダクション量が表示されます。
- ⑤ THRESHOLD コンプレッサーがかかりはじめるレベルを調節します。
- ⑥ RATIO 圧縮率を調節します。ノブをいちばん右まで振り切るとリミッターになります。
- ⑦ ATTACK アタックタイムを調節します。
- ⑧ RELEASE リリースタイムを調節します。
- ⑨ GAIN 出力ゲインを調節します。